



2002年05月22日

フォルクスワーゲン ニュービートル カップ ジャパン2002第二戦(美祿)リザルト



フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:梅野 勉)がサポートする、輸入車初のJAF(日本自動車連盟)公認ナンバー付きワンメイク レース、"フォルクスワーゲン ニュービートル カップ ジャパン2002"(以下:NBCJ)第二戦の決勝が、5月19日(日)、薄曇りながら時折強い日差しが射すセントラルパーク美祿サーキット(所在地:山口県美祿市)にて開催され、初戦に続きゼッケン55: Team DUO Beetleの坂本祐也選手(エキスパートクラス、以下:Ex)が、当日のファーステストラップで2連覇を達成しました。また、クラブマンクラス(以下:CI)では、ゼッケン66:スズキワークスBeetleを操る鈴木 太選手が、見事、クラス初優勝を飾りました。

タイトなコーナーがドライバーに高い緊張感とテクニックを要求する、一周3,331kmのコースを10ラップする決勝は、午前8時54分、参加台数14台(Ex:9台/CI:5台)でスタート。前日の予選でポールポジションを獲得した坂本選手と、それを追うゼッケン99:CRT New Beetleの壺林貴也選手。そして、3位のゼッケン2:Snap-on Beetle 吉富 章選手と、4位のゼッケン33:フォルクスワーゲン広島ビートル 宮本 新選手によるトップ争いに注目が集まりました。またCIでは、混走のため10番手(CIではスターティンググリッド1番手)の出走となるゼッケン7:110RACING-Beetleの伊藤与志雄選手と11番出走鈴木 太選手、12番出走のゼッケン50:MTO Beetleの北山 浩選手をはじめとする総勢5選手が、激しいクラス内バトルを演じ、レースを盛り上げました。

結果として第二戦では、クレバーな走りで各コーナーの追撃を許さなかった坂本選手が3位以下を大きく引き離し、粘り強く起死回生を狙い続けた2位 壺林選手に隙を与えず、3秒975差の19'24.389で今季2連覇を死守すると、CIも混戦を極め、鈴木選手がCIトップ伊藤選手の間隙について首位に出ると、その後をゼッケン44:フォルクスワーゲン金沢の諸江明祐選手も猛追を開始。そのまま順位を入れ替える事なくゴールを迎えました。この諸江選手の追撃は、この日のCIにおけるファーステストラップを記録。表彰式にてExの坂本選手と共に、NBCJのスポンサーであるJFA(日本サッカー協会)J1リーグ ジュビロ磐田所属のスター選手、中山雅史さん直筆によるサイン入りユニフォームが記念品として贈呈されました。

このように開催3年目を迎えたNBCJは、盛り上がりを見せる「NR-A:ナンバー付レース」を代表するイベントとして、新たにBPジャパン カストロール ブランド、ネスレジャパン グループ各社の協賛を得ると共に、参加者、観戦者が心から楽しめるナンバー付きレースとして益々その評価を高めています。なお、待望の第三戦は7月6日(土:予選)、7日(日:決勝)の両日、F1サーキットとして有名な、三重県鈴鹿市にある鈴鹿サーキットにて開催されます。

第二戦:エキスパートクラス決勝公式結果

第二戦:クラブマンクラス決勝公式結果

決勝	クラス/予選	ゼッケン	ドライバー/車名	所要時間	決勝	クラス/予選	ゼッケン	ドライバー/車名	所要時間
1	Ex-1	55	坂本祐也: Team DUO Beetle	19'24.389	1	CI-2	66	鈴木 太:スズキワークスBeetle	20'09.925
2	Ex-2	99	壺林貴也:CRT New Beetle	19'28.364	2	CI-4	44	諸江明祐:フォルクスワーゲン金沢	20'11.204
3	Ex-3	2	吉富 章:Snap-on Beetle	19'36.698	3	CI-3	50	北山 浩:MTO BEETLE	20'12.890
4	Ex-4	33	宮本 新:フォルクスワーゲン広島ビートル	19'36.962	4	CI-5	37	金子 誉:浦安R.T	20'14.513
5	Ex-5	1	木下 淳:VW New Beetle	19'48.985	5	CI-1	7	伊藤与志雄:110RACING-Beetle	20'49.065
6	Ex-8	9	藤島敏也: Jubilo-MM Beetle	19'51.235	-	-	-	-	-